

令和6年度 羽水高等学校 学校関係者評価書

- (問) ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。
・スクールポリシーを踏まえた評価となっているか。

(意見を聞いた方) 育成会 会長、副会長

○教育課程・学習指導

- ・家庭学習は1年から習慣づけるよう更なる取り組みをお願いします。ひいては2, 3年時での学習につながります。
- ・生徒支援、進路支援を含め、生徒が頑張っていることに対して、先生はじっくりと時間を使ってくださっているように思う。
- ・家庭学習について、目標指数を約20%下回る結果は改善をしていくべきかと思います。1, 2年生は部活動などが影響しているかと思われますが、家庭学習の重要性を理解し習慣化する様、周囲(家庭や学校)からの働きかけを行うべきかと思います。重要性や意識を向けさせる工夫を教員や保護者で共有し、生徒の意識に繋げる流れを構築出来る様にしていきたいです。

○生徒支援

- ・SNSやネットモラルは今後ますます必須スキルとなっていくので、規制だけでなくより良い使用方法、付き合い方の指導の強化が望まれる。
- ・情報端末の適切な使い方に於いて、生徒と保護者の意識差が大きい結果になっています。ルールやモラルを高校生のうちに確立しておく事が必要と感じます。
- ・学校行事や部活動に携わる事で、生徒は同じクラス以外の生徒や顧問、コーチとの交流を得られ、勉強以外の気分転換にもなり得る事が出来ます。積極的に携わる事を望む一方で、多忙になり過ぎて家庭学習に影響を及ぼしているのでは?とも思います(昨年度より若干参加しない割合が増えた原因?)。部活動、学校行事に対する保護者や教職員の理解と、家庭学習の計画(時間の管理)やルーティン化が身につく様、生徒への働きを根気強く行う事が大切だと思います。

○進路支援

- ・1年の早い時期から支援していくことが効果的だと思うので意識付けをお願いします。
- ・進路目標の明確化は、生徒の2年生90%、3年生では99%と高い数値となっているので、2,3年生の進路支援は達成出来ていると思われます。1年生は文理の選択等、2年後の進路を明確化するのに時間を要すると思われます。1年生や1年生の保護者には早い段階から進路情報等に触れてもらい、興味のある大学などのオープンキャンパスに参加を促す等、ビジョンや目標を得られる様に推進し、進路目標の明確化に繋げていければと思います。

○保健衛生指導

- ・教員への信頼度はどこまでも100%を目指してください。
- ・教職員による生徒への配慮やサポートは、生徒が99%と満足度が高い結果となりましたが、教職員の9%はあまり対応出来なかったと回答されています。教職員の生徒に対する気配りが、生徒の満足感以上だった事が窺えます。保護者からも肯定的な回答を得られており、教職員の対応は高く評価すべきと感じます。

○図書指導

- ・本を読むことは国語力ひいては人間力につながると思います。少しでも読む機会を増やしてほしい。
- ・良い本が沢山あるが、ほとんどが図書室を十分に利用できていないと感じる。
- ・図書館利用に於いても朝読書に於いても、生徒が読書に親しむ割合が目標数値にしろうじて達成、あるいは近い数値になっていますが、全く楽しめていない割合も5%前後の数値である事も注視していくべきかと思います。教職員が生徒に読ませたい本が図書館にあると回答している割合が96%と高い為、図書館には生徒にとって役立つ本や知識が揃っているのだと思います。図書館の本を利用して学習に繋げていく様な試みを行うなど、本に対する興味や関心を高め、全く楽しめないという割合を限りなく0に近づけてもらいたいです。

○外部との連携

- ・保護者への周知を拡大してほしい。せつかくのHPが十分周知されていない気がします。
- ・自家用車(送迎時)の車を一時止める場所の確保ができるとよい。
- ・外部との連携(本校の教育活動や育成会の活動の家庭・地域への周知、中学校への広報活動)中学校への広報活動の一環として発行されている羽水journalは、それぞれの中学出身の先輩(羽水高生)が紹介されていたりと、中学生及び保護者からも興味や好感度を得られていると思います。他校には見られない特徴なので、継続してもらえたらと思います。
- ・教職員からの活動の情報は100%提供されていますが、特に紙媒体での情報は生徒(7%)で止まってしまい、保護者に行き渡らず情報を得られない事が起こっています。また、本校のHP内のブログにて、教職員が定期的に活動情報を詳細に報告して下さり、生徒の学校生活の様子が垣間見る事が出来ます。しかしながら、保護者の間で周知されていないのではないかと思います。学校から保護者への情報提供をHP内で行うなど、もっとHPを活用する事を検討してみると良いと思います。

○人権教育の推進

- ・人とのつながりが人生で最も重要なもののひとつである事を心に刻むような推進をお願いします。
- ・人権教育の大切さについて98%の生徒が理解できたと回答、教職員の96%が適切に指導を行っているという回答しており、概ね教育が行き届いていると感じます。学校の人権に配慮した対応に満足していないと10%の保護者が回答している点について注視し、学校、生徒、保護者間の認識の誤差を生じない様に、問題提起、対策を行っていく必要があると感じます。

○総合的な探究の時間関連(PBLや教職員対象の校内研修を含む)

- ・横のつながりを取り込むことでより良い活動につなげてください。
- ・PBLを頑張って取り組んでいる人程、経費がかかっているように見受けられる。学校側も聞いたり見たりしてほしい。
- ・総合的な探究の時間関連(PBLや教職員対象の校内研修を含む)について 探究活動に満足している生徒は94%と高い割合ですが、満足していないと回答している特に2年生は12%と1.3年生に比べて高い事が気になります(昨年度も似た結果に)。探究活動は本校は早くに取り入れています。昨今ではどの学校(小中学校等)でも行われる様になりました。各学校が行っているという事は、探究活動に特化して大学進学等に生かす事が通じなくなりつつあるということです。本校に於いての探究活動のあり方や方針などを再考する必要性が出てきている時期かもしれません。

○全体(総括)

- ・種々の取り組みが成果を出している事が確認できます。一部目標を下回っている部分や、さらなる目標を掲げる事で生徒に還元できるようにお願いします。
- ・私の子どもには羽水の校風があっただけで楽しく過ごせたのかと思います。生徒たちには、何事にも真剣に取り組めば先生方も真剣に対応してくれるんだよ!!といいまわりたいです。
- ・全ての項目で「ほとんど行っていない」と回答された先生方は、やる気が無かったのか、機会がなかったのか、自己評価が厳しいのかが気になりました。
- ・主観的な評価を聞くアンケートとは別に数値的なデータも提示していただけると、アンケート結果に対して違った評価も可能のような気がします。
- ・本校の人間関係や学習指導、部活動など7項目の学校生活に対し、生徒はどう感じているかとの問いに対し、いずれも肯定的な回答が約70%以上と似た様な回答となっています。学業も部活や行事なども満遍なく満喫している事が窺えます。教職員、保護者が本校に充実を求める回答は学業関連が高く、次いで人間関係が重要と回答しています。学業も重要ではあるが、人間関係の構築も学校生活を楽しむ上で不可欠な土台的要素ではないかと考えます。本校の生徒は、何かに偏る事なくバランスのとれた学校生活を送れている事を、アンケート結果にて感じとる事ができました。これからの満足度が高く、楽しい学校生活が送れる本校であり続けて欲しいと願います。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・多くの保護者、生徒に本校教職員の取り組みを評価してもらえていることはありがたく感じます。
- ・家庭学習の取り組みについては、生徒が主体的に学習に取り組む指導を今後も工夫していくとともに、生徒の学習状況に応じて指導改善につなげていきたい。また、PBL活動、部活動等も含めたタイムマネジメントの指導についても検討していきたい。
- ・教員、保護者、生徒との間で乖離している事柄については、十分に分析し、今後の取り組みを検討していきたいと感じます。
- ・今回、ご指摘やご意見があった点について、各部で検討を進めていきたいと思っています。